

令和4年度 立川市立南砂小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標 ○元気な子 ○考える子 ○思いやる子 ○がんばる子

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の習得 ○思考力の向上 ○体力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台タブレットPCの活用 ・協働学習の場の設定 ・体育朝会の取組

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを自分の言葉で話すこと ○日常生活における人との関わりの中で意見を伝え合うこと ○学んだ知識や技能を活用して、筋道を立てて書いたり、話したりすること ○読書を通し、自分の思いや考えを広げること ○文章を読み、条件に合わせて要約すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は児童の実態に応じた話型を作り、児童が順序や筋道を立てて考え、自分の意見を発表したり文章に書いたりする力を養う。 ・2・3学期には話型を使わずとも、目的や相手を意識して伝え合う力を身に付けるために自分の意見を発表する機会を増やす。 ・児童が目的や意図に応じて感じたことや考えたことなどを書くことができるように、計画的に書く活動を取り入れる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象を捉え、比較・分類したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする力 ○社会に見られる課題を把握し、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較する社会的事象の相違点や共通点を書き出したり、図化したりする。 ・比較したり関連付けたりして考えたことを、文章に表す機会を増やす。その上で、全体で話し合い、理由や背景を推論していく学習を行う。 ・日本と世界の伝統・文化等に関する理解を深めるために、国旗や国歌、世界遺産等について調べる学習を行う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○文章から正しく演算決定をする力 ○既習事項を活用して、新たな問題を解決する力 ○実感を伴った量感覚や図形の性質、単位の関係などの基礎的な性質の理解をもとに、日常場面の事象を数理的に捉え、問題を協働的に解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を図や表に表す活動を通して、内容理解を促す。 ・単元の終わりに、児童の実態によっては発展的な問題を解く時間を設け、様々な問題に触れさせる。 ・日常生活に関連させた問題場面を提示するとともに、教え合いや互いの考えを共有する場面を設定する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えと異なる他者の予想を理解したり、仮説を基に実験を構想したりすること（中学年） ○実験結果を基に考察し、自分の考えをより妥当なものにすること（高学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識から仮説の設定や観察・実験の計画を立案し、意見交流をする学習場面を設ける。（中学年） ・実験結果を表やグラフなどに整理して考えたことを議論して、自分の考えをより妥当なものにしていく学習場面を設ける。（高学年）
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に活動する中で自分の気づきを生み、それを比べたり例えたりしながら高め、伝えること ○気付いたことや考えたことを表現すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が具体的な視点をもてるよう、学校図書・学級文庫・インターネットを活用する。また感染状況を確認しながら、地域との実際の交流活動をできる限り実施していく。 ・表現する際にタブレットを利用して検索した情報を付け加えたり、分かりやすく伝えたりしていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○曲の特徴にふさわしい表現方法を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて考えること ○思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けること 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を使い音楽を聴いて感じたことを表現するなど、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけ指導を工夫する。 ・授業導入時の常時活動(例：リズム遊び等)を工夫するとともに充実させ、楽しく基礎・基本が身に付くようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○感じたことや発想したことをどのように表現するか考えたり、友達や身の回りの作品を見てそれぞれの良さを感じたりすること ○用具や材料の基本的な扱い方や表現の方法を知り、それを活用しながら自分なりの表現をすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや鑑賞活動、参考資料を通して、自分の考えをまとめたり、いろいろな表現の方法を知ったり、良さに触れたりさせていく。 ・様々な用具の使い方や材料に触れる機会をより多く設定し、それらを扱う技能を高め、表現する上で用具や材料を選択できるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活をよりよくするための工夫を考えること ○習得した知識や技能を家庭生活で生かすこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活から衣食住に関する課題を発見し、解決に向けて解決策の検討、計画、実践、評価、改善といった学習活動を通して課題を解決できるようにする。 ・全ての児童に分かりやすく、扱いやすい教材を選択する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動を楽しむための基礎的な技能や思考力を身に付けること ○多様な動きを体験できる場面を多く設置し、技能を高めるための感覚を身に付けること ○仲間と協力したり、互いの考えを認め合ったりする経験を通して、学びに向かう力を育むこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能分析を徹底することで、運動の楽しさや喜びに触れることができるようにする。 ・領域ごとに必要な技能を高めるために、主運動につながる感覚作りの運動を単元の中に帯で設定する。 ・仲間と対話する場面を設定し、関わり合って取り組む楽しさや作戦などが成功する喜びを実感できるようにする。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">外国語活動・ 外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむこと ○既習の知識を使って、自分の伝えたいことを、外国語を使って話そうとする力 ○外国語で友達と関わろうとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して世界の文化を紹介することで、児童の外国語を学ぶ興味・関心を高めていく。日常生活に関する身近な題材を教材化していく。 ・自分の学習を振り返り、自分の思いや考えを伝えるためにはどんな表現が適切か再構築する時間を設ける。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況の設定を明確にした言語活動の時間を意図的に設ける。
---	--	---